



入小安全便り

令和5年11月30日発行 No.7

文責：安全担当（松岡）

【最近、よく耳にする「北海道・三陸沖後発地震注意情報」とは？】

内閣府及び気象庁では、日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード7クラスの地震が発生した後、数日程度の短い期間を置いて更に大きなマグニチュード8クラス以上の大規模な地震が発生する「後発地震」への注意を促す情報として、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を行っています。

後発地震の発生可能性については、世界的事例を踏まえても「100回に1回程度」といわれています（これまで以上に発生する可能性が高まっているという情報です）。それでも、訓練や準備に「空振り」はなく、まさかのとき予行演習としての「素振り」と捉えて、学校でも日頃の訓練や備えをしていきたいと思えます。

以下の二次元コードは、北海道・三陸沖後発地震注意情報が出されたときにどんなことが起きるかや、そのときの対応が漫画で紹介されています。是非、お子様と一緒に御覧いただき、御家庭の避難の仕方や備えについて確認する機会にしていいただければと思います。

漫画の1コマ



この漫画は、保護者の方が読んでからお子さんに解説してあげると、より内容が伝わりやすいのではないかと感じました。「漫画ではこうだけど、うちの場合はね…」などのように、御家庭の約束などを引用していただくのも良いかと思いました。



漫画はこちらの
二次元コードから